

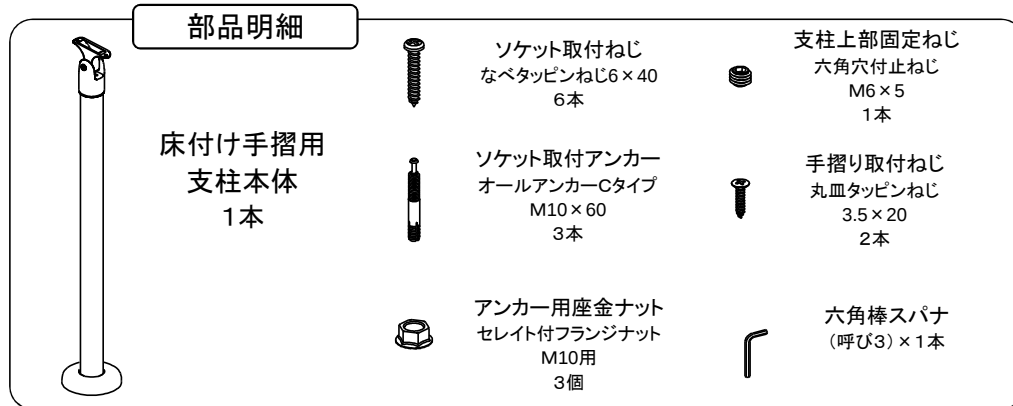
DAIKEN 施工説明書/取扱説明書

●品名: システム手摺35型 床付け手摺用支柱
 DAIKEN ■品番: ME5434-1□□

この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

★安全にご使用頂くために施工の際によくお読み頂き、以下の事を必ずお守りください。

★この取扱説明書は大切に保管してください。



取扱い上の注意

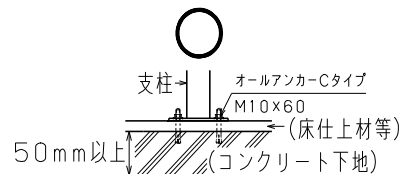
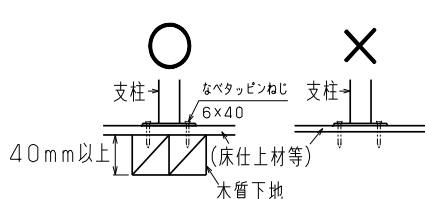
●長年ご使用されるとナットやねじ類がゆるむことがありますので、定期的にゆるみを確認し、締め直してください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 支柱取付けピッチは900mm以内で取付けてください。
- 端部の持出しの長さは150mm以内としてください。
- 支柱を取付ける下地の確認を必ず行なってください。

(木質下地の場合)

(コンクリート下地の場合)



※上記下地厚さを確保できない場合は、取付できませんのでご注意ください。

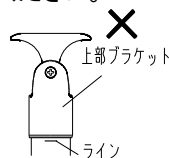
●高さ調節をしない場合も、支柱上部固定ねじで支柱上部を必ず止めてください。

●支柱を高くする場合、調整可能寸法は20mmです。

支柱に高さ調節の限界を示すライン(対面2箇所)を入れています。

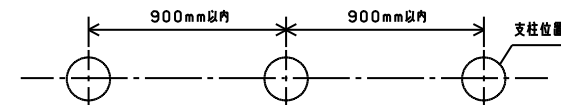
支柱上部の固定ができなくなりますので、上部ブラケットの下部がラインを超える調整はしないでください。

●支柱をカットして低くすることはできません。



施工手順

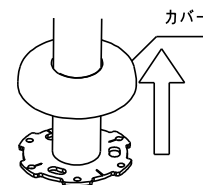
1.支柱位置を決めます。



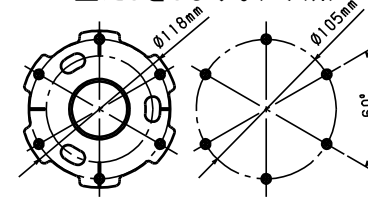
2.支柱を取付けます。

【木質下地の場合】

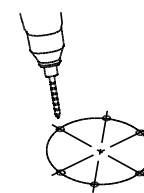
①カバーをはずします。



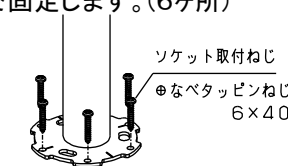
②取付け穴の位置に墨だしをします。(6ヶ所)



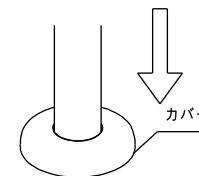
③φ4.8mmの下穴をあけます。(6ヶ所)



④付属のソケット取付ねじで固定します。(6ヶ所)

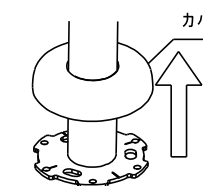


⑤カバーをかぶせます。

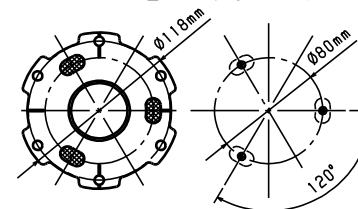


【コンクリート下地の場合】

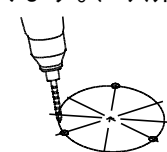
①カバーをはずします。



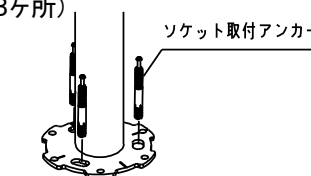
②取付け穴の位置に墨だしをします。(3ヶ所)



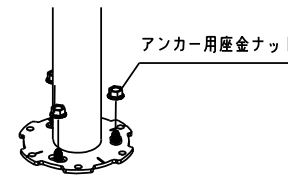
③φ10.5mm深さ45mmの下穴をあけます。(3ヶ所)



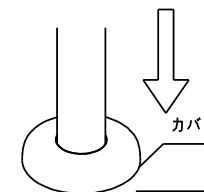
④付属のソケット取付アンカーを打ち込みます。(3ヶ所)



⑤アンカー用座金ナットで締め付けます。(3ヶ所)



⑥カバーをかぶせます。



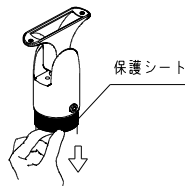
続きは裏面へ

施工手順(続き)

3.高さ調節をします。

【高さ調節(高く)する場合】

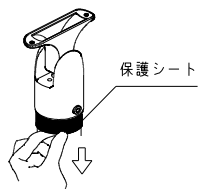
- ①支柱上部を左へ回転し、②保護シートを引っ張り、③付属の六角棒スパナ(呼び3)を使用し、付属の支柱上部固定ねじで固定します。(1ヶ所)



※調整可能寸法は20mmです。
1回転させると1mm高くできます
※支柱に高さ調整の限界を示すライン(対面2箇所)を入れています。
支柱上部の固定ができなくなりますので、上部ブラケットの下端がラインを越える調整はしないでください。

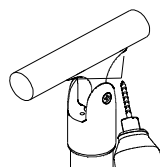
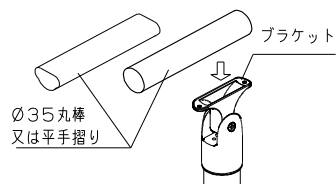
【高さ調節をしない場合】

- ①保護シートを引っ張り、
抜きます。
②付属の六角棒スパナ(呼び3)を使用し、付属の支柱上部固定ねじで固定します。(1ヶ所)



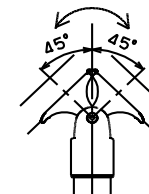
4.手摺りを取付けます。

- ①φ35丸棒又は平手摺りをブラケットにのせます。
②φ2mmの下穴をあけます。(2ヶ所)
③付属の手摺り取付ねじで固定します。(2ヶ所)



角度調整方法

- ①受け角度固定ねじをプラスドライバー(＃3)でゆるめます。②角度を合わせます。③受け角度固定ねじを締め、固定します。(1ヶ所)



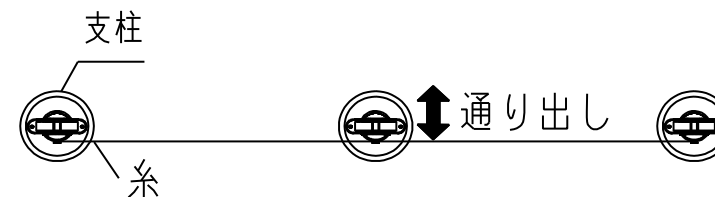
参考

支柱を3本以上使用する場合の通り出し、レベル出しをする際に参考にしてください。

【手順】

- 1.施工手順「2. 支柱を取付けます。」の際に、床面への固定を仮固定とします。
- 2.基準とする位置(通り出し・レベル出し)を決め、両端の支柱間に糸を張ります。
- 3.中間の支柱の位置(通り出し)を張った糸に合わせます。
- 4.支柱を完全に固定します。
- 5.高さ調整をし、中間の支柱の位置(レベル出し)を張った糸に合わせます。

位置(通り出し)



※支柱の側面を基準にしています

位置(レベル出し)

